

大泉保育福祉専門学校 情報提供資料

社会福祉法人 三 吉
大泉保育福祉専門学校
(令和3年5月1日現在)

1. 学校の概要、目標及び計画

(1) 学校の概要

社会福祉法人 三 吉 大泉保育福祉専門学校
学校長 齋藤ソノ子
〒370-0525 群馬県邑楽郡大泉町日の出56番2号
電話 0276-62-5806 FAX 0276-62-5821
ホームページ <https://www.oizumihosen.ac.jp/>

(2) 目標

本校の教育目標

- ① 専門の知識・技術の習得と、幅広い福祉分野への関心を深める
- ② 精神力を高め、努力と前向きな意欲を継続する
- ③ 主体的な行動力や表現力の伸長を図る
- ④ 実践力を培い、即戦力となる専門家を養成する
- ⑤ 社会集団でリーダーシップを発揮できる職業人を育成する
- ⑥ グローバルな視点での社会貢献意識を育成する

(3) 学校の沿革・歴史

昭和49年	1月11日	社会福祉法人三吉設置について厚生大臣認可
	3月18日	大泉保育専門学校の設置について厚生大臣指定
	4月1日	保育科（夜間部）開校
昭和52年	1月10日	保育科I部の設置について厚生大臣指定
	3月25日	保育科I部開校
平成元年	2月20日	福祉科の設置について厚生大臣指定
	4月8日	福祉科開校
平成2年	4月1日	大泉保育福祉専門学校と校名を変更する
平成6年	4月1日	福祉科定員変更（40名→80名）
平成19年	4月1日	保育科I部定員変更（50名→100名）
平成21年	4月1日	福祉科定員変更（80名→40名）
平成25年	4月1日	保育科I部保育士・幼稚園教諭コース開設
平成28年	4月1日	介護福祉士実務者研修課程（通信課程）開設 ※付帯教育
平成29年	3月31日	保育科II部（夜間部）閉科

(4) その他の諸活動に関する計画

- ① 学校安全計画：毎年、11月に避難訓練を実施
- ② 学校保健計画：毎年、4月に在校生及び職員の健康診断を実施

2. 各学科等の教育内容

(1) アドミッションポリシー(入学受入れ方針)

本校では、専門職業人として広く社会で活躍できる人材を育成していく上で、次のような学生を求めます。

- ① 専門的な知識と技術の修得に意欲と探究心を持って取り組める人
- ② 他者に対して思いやりと共感する心を持ち、協働できる人
- ③ 身に付けた知識と技術で、地域社会へ貢献することに意欲的な人

保育科

- ① 豊かな人間性を持つとともに、専門性を追求しようとする人
- ② 円滑な人とのかかわりを持てるよう努力する人
- ③ 保育を通して子ども、保護者、地域を支援する意欲を持つ人

福祉科

- ① 介護に関心が高く、学習意欲のある人
- ② 人間の一生に興味を持ち、その人らしい生き方を支援したいとする人
- ③ 自分の思いや感じたことを言葉で表現できる人

(2) 収容定員、在校生数（学校基本調査：令和3年5月1日現在）

保育科	修業年限2年	入学定員100名	総定員200名
	在籍学生数	1年63名 2年65名	合計128名
福祉科	修業年限2年	入学定員40名	総定員80名
	在籍学生数	1年15名 2年16名	合計 31名
	留学生	0名	

(3) カリキュラム

授業科目ごとに、授業の概要、到達目標、授業計画、成績評価方法および基準を記載した「授業概要」の冊子を製作し、新年度開始時に全学生へ配付している。

授業概要（シラバス）は[情報公開ページ](#)にて公開しています。

(4) 成績評価基準

成績評価は各科目の特性に応じて筆記試験、実技試験、授業態度、提出物などを総合して100点満点で行い、科目履修の認定にあたっては60点に達することが必要である。なお成績評価表への成績評価は、A（80～100点）、B（70～79点）、C（60～69点）、D（0～59点）の4段階とし、各科目の成績評価点より、取得した点数の平均点を求め、成績評価順位付けを行う。

(5) 進級・卒業時の要件等

ディプロマポリシー（卒業認定方針）

保育科

1. 保育に関する専門的知識・技術を習得し、実践の場で応用することが出来る。
2. ゼミ活動やボランティア等に積極的に参加し様々な事に気づき、人と協力をする事の大切さを学ぶと共に自分なりの考えを持ち表現する。
3. 2年間の学習で保育の目的や対象を理解し、実習を通して現状や課題を知り、子どもや保護者一人一人に対して必要な支援ができるようになる。

福祉科

1. 科学的根拠に基づいた情報の分析ができ、課題抽出から利用者のニーズを引き出せる介護過程の展開ができる。
2. 利用者や家族、校外活動を通し、様々な人との出会いからコミュニケーション能力を身につけることができる。
3. 2年間の介護福祉教育のまとめとして事例研究を行い、発表できる。

① 進級認定基準 その学年で履修すべき科目の3分の2以上の単位を修得

② 卒業認定基準（必修・選択科目別の必要単位数）

保育科

授業科目区分		取得単位数
教養科目	必須科目	2単位
	選択科目	6単位以上
	教養合計	8単位以上
専門科目	必須科目	54単位
	選択科目	6単位以上
	専門合計	60単位以上
合計		68単位以上

福祉科

授業系列区分		取得単位数
人間と社会	必須科目	12単位
	選択科目	3単位以上
	人間と社会合計	15単位以上
介護	必須科目	44単位
	選択科目	4単位
	介護合計	48単位
こころとからだのしくみ	必須科目	20単位
医療的ケア	必須科目	4単位
合計		87単位以上

卒業判定会議を開催し、各学生の単位取得状況を確認した上で、卒業認定を行っている。

(6) 学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

保育科

- ・保育士コース：保育士、専門士、児童厚生2級指導員、レクリエーションインストラクター
- ・保育士幼稚園教諭コース：保育士、幼稚園教諭二種免許状、専門士、短期大学士、レクリエーションインストラクター

福祉科：介護福祉士、専門士、レクリエーションインストラクター

(7) 取得資格、検定資格等の実績

保育科 保育士（昭和49年より令和2年3月卒業まで累計4,625名）

幼稚園教諭二種免許状（短期大学との教育連携にて平成25年より令和2年3月卒業まで累計243名）

専門士（平成7年より令和3年3月卒業まで累計2,472名）

福祉科 介護福祉士（平成元年より令和3年年3月卒業まで累計1,375名）

専門士（平成7年より令和3年年3月卒業まで累計1,224名）

(8) 卒業者数、卒業後の進路（令和3年3月卒業生）

保育科 卒業者 64名

就職状況

公務員4名	保育園26名
認定こども園13名	障害者支援施設4名
児童養護施設1名	幼稚園1名
児童デイサービス5名	乳児院1名
放課後児童クラブ2名	児童館2名
一般企業4名	就職希望なし1名

福祉科 卒業者 12名

就職状況

特別養護老人ホーム9名	シルバービジネス1名
一般企業1名	就職希望なし1名

3. 教職員の状況

(1) 教職員の組織

学科会議及び事務会議内での検討事項について、運営会議に図り意思決定を行う。決定事項については教職員全体で情報共有をしながら日々の教育活動・業務を円滑に行う。また、学校関係者評価委員会と有機的連携を図りながら、教育の質の保証・向上に向けて組織的に取り組む。

(2) 教員数（令和3年5月1日現在）

専任教員 11名

非常勤講師 21名

事務職員 7名

4. キャリア教育・実践的職業教育

(1) キャリア教育への取組状況

実習に対する動機づけと就職活動に向けて各施設に対する理解を深めることを目的として、保育科は保育実践演習（保育所・施設実践）を開講している。保育所や児童福祉施設等の概要について学んだ上で、2日間の保育所における保育実践と1日の施設見学を実施。福祉科は施設種別ごとの概要について学んだ上で、4施設への見学を実施。

(2) 実習・実技等の取組状況

保育科

①保育所実習：2単位（90時間）

②施設実習：2単位（90時間）

③選択実習：2単位（90時間）

④教育実習：4単位（180時間）

⑤児童館実習：2単位（90時間）

福祉科

施設実習：10単位（450時間）

内訳 第一段階実習：2単位（90時間）

第二段階実習：4単位（180時間）

第三段階実習：4単位（180時間）

(3) 就職支援等への取組支援

就職指導は1年次後半よりスタート。独自の「就職ガイドブック」に基づき、就職ガイダンス、基礎教養の開講、進路相談、個人面談とステップを進め、ホームルームアドバイザー制（担任制）による一人一人のニーズに合ったアドバイスで、学生の立場に立った進路指導を行っている。職業理解や就業のミスマッチを防ぐよう配慮し、ほぼすべての卒業生が専門性を活かしたところへ就職している。

5. 様々な教育活動・教育環境

(1) 学校行事への取組状況

4月：入学式、オリエンテーション、学友会総会

5月：保育科施設実習、福祉科第二段階実習

7月：就職模擬試験、前期期末試験

8月：保育所・施設実践、幼稚園適性検査・公務員試験対策特別講座

9月：保育科教育実習

10月：保育科選択実習、福祉科第三段階実習

1 1月：はぐくみ祭

1月：保育科保育所実習、福祉科第一段階実習、後期期末試験

2月：保育福祉演習発表会

3月：卒業式・終業式（新型コロナウイルスの関係で中止）

(2) 課外活動

地元である大泉町を中心に近隣の邑楽町・千代田町・太田市実施の各イベント及び各保育園・幼稚園・認定こども園・福祉施設等へのボランティア参加。

6. 学生の生活支援

(1) H.R.A. (ホームルームアドバイザー)

本校では H.R. (ホームルーム) 制を採用しており、各 H.R.には H.R.A. (ホームルームアドバイザー) として専任教員を置いている。ひとりひとりの学生の状況を把握しながら、生活面、学習面での相談や助言を行うだけではなく、各教科目担当者と有機的連携の中で指導を行っている。また卒業学年においては、これらに加え、就職支援についても行っている。

(2) 通学支援

経済的負担をなるべく少なくする為「通学定期半額補助制度」や「無料駐車場」を整備している。

(3) 卒業後支援「おしゃべり会開催」(保育科)

卒業した後、おおむね数か月以内に卒業生支援「おしゃべり会」を実施している。「おしゃべり会」では現状の報告や今後の抱負を一人ひとり発表したり、久々に会った友と語り合ったり、楽しい時間を過ごし励まし合うことで継続して就業する気持ちを喚起している。また、本校の専任教員も同席し、必要に応じ助言や指導も行っている。

7. 学生の納付金・修学支援

(1) 学生納付金 ※初年度納入金

保育科

種 別	金 額 (円)	
	保育士コース	保育士・幼稚園 教諭コース
入 学 金	140,000	140,000
授 業 料	540,000	790,000
設 備 費	110,000	110,000
実 習 費	50,000	50,000
計	840,000	1,090,000

福祉科

種 別	金 額 (円)
入 学 金	140,000
授 業 料	520,000
設 備 費	110,000
実 習 費	50,000
計	820,000

※ 2年次納入金は「保育士コース」及び「福祉科」は入学金を差し引いた金額
「保育士・幼稚園教諭コース」は教育連携校の学費を含め91万円

(2) 奨学金、授業料減免等の経済的支援

- ① 受験者の家庭状況や成績を総合的に判断して、学費の減免などを行う特待生・奨学金入試制度あり
- ② 在校時の学費支払い状況や成績を総合的に判断して、給付を行う制度あり
- ③ 東日本大震災において被災された方を対象とした入学金免除措置あり
- ④ 日本学生支援機構奨学金制度あり
- ⑤ 生命保険協会保育士養成奨学金制度あり
- ⑥ 損保ジャパン日本興亜福祉財団介護福祉士養成奨学金制度あり
- ⑦ 群馬県保育士及び介護福祉士修学資金制度あり
- ⑧ きょうだい・親子入学金免除制度あり

8. 学校の財務状況

令和元年度社会福祉法人三吉財務計算書類のうち貸借対照表、収支計算書、財産目録、事業報告書、監査報告書は[情報公開ページ](#)で公開しています。

9. 学校評価

- (1) 自己評価報告書および評価結果を踏まえた改善方策を[情報公開ページ](#)で公開しています。
- (2) 学校関係者評価報告書および評価結果を踏まえた改善方策は[情報公開ページ](#)で公開しています。

10. 学則

- (1) [情報公開ページ](#)にて公開しています。

以上